

令和2年10月23日

東京都知事

小池 百合子 様

東京都議会自由民主党

幹事長 山崎 一輝

コロナ禍における経済対策と今後の都の支援策

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、季節性インフルとの同時流行への備えも含めた感染拡大防止対策を進めていく必要がある。

そうした中、これまでの感染防止策の影響を被った都内経済は今も低迷しており、中小零細企業は、依然として極めて厳しい経営環境にある。

一方、感染の拡大が本格化する中、都は、医療機関への支援、都民生活への支援、都内事業者への支援など、各種支援策を次々と打ち出してきたが、そうした支援策の中には、当初想定していた終了期間が近づいているものもあり、今後の支援のあり方に不安を感じている方も多いと聞く。

そこで、新型コロナ感染の長期化も見据え、以下の対策を早急に実施するよう強く要望します。

記

(経済対策)

都議会自民党は、例年、中小零細企業への制度融資、金融相談や経営相談をはじめ、就業相談など、中小事業者等への対応を知事に要望しているが、今年は、コロナ禍という要因も加わり、極めて厳しい経営状態にある中小企業事業者への支援は急を要する事態となっている。早急に必要な経済対策を実施すること。

(コロナ感染拡大防止に係る各種支援策)

都の各局は様々な支援策を展開しているが、それらは感染拡大が本格化する中、緊急対策として取り組んできたものである。コロナ禍の収束が見通せない現状を踏まえ、支援期間の延長など、当面、年度末を想定して、都の支援策全般を再度整理し、今後の見通しを都民に早急に示すこと。